

2019年度 世界遺産専攻修士論文・世界文化遺産学専攻博士論文公开发表会
2020年2月7日人文社会学系棟 B218【セミナー室(大)】9:30~15:20

1. 岸原 正憲 9:30~9:47
メキシコ、オアハカ州における修道院を中心とした宗教空間の変遷
- サント・ドミンゴ・ジャンウイトランを事例に -
2. 久我 昌江 9:47~10:04
図書館に収蔵された木質保存箱の劣化状態に関する研究
3. 小柴 まりな 10:04~10:21
擬岩作製における材料比の変化による物性と成形性についての研究
4. 篠原 裕菜 10:21~10:38
文化的要素を利用したインバウンド促進の方法に関する研究
- ★休憩 10:38~10:48
5. 協園 大史 10:48~11:05
考古遺跡群における価値の伝達に関する研究
- 世界遺産登録を目指す北海道・北東北の縄文遺跡群における現状と課題 -
6. 李 珣媛(イ スンミ) 11:05~11:22
世界文化遺産の緩衝地帯に関する韓日比較研究 - 昌徳宮と二条城を事例に -
7. URIBE CHINEN HATSUMI 11:22~11:39
プレヒスパニック遺産の構築: 国民国家としてのペルー共和国の形成における文化
政策と考古学の連携(1821-1972)
8. WANG YI(オーイチ) 11:39~11:56
トン戯の保護と継承: 住民参加の視点から
- ★昼時間 11:56~13:00
9. 瞿 芳馨 (ク ホウシン) 13:00~13:17
ドレスデン世界遺産における市民参加について
- ヴァルドシュロス橋の建設をめぐる市民運動を対象に -
10. 趙 潤 (チョウ ジュン) 13:17~13:34
世界無形文化遺産崑曲の継承に関する研究 - 中国大陸と台湾の崑曲の比較を通して -
11. ZHAI JING 13:34~13:51
敦煌莫高窟における隋代菩薩像に関する研究
12. 潘 麗鋭 13:51~14:08
中国の海口騎楼老街における観光の現状と課題
- ★休憩 14:08~14:20
13. 箴島 大悟 14:20~14:50
世界遺産の審査における「政治化」に関する研究 - 「顕著性」と「代表性」の議論を軸に -
14. JANSE HELGA SARA KATARINA 14:50~15:20
無形文化遺産におけるジェンダーに基づく役割分担のダイナミクス
- 日本の山・鉾・屋台行事を事例として -